

# からふる



令和元年5月 春号  
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

## 令和4年（2022年）4月開校予定！ 北陽小学校分離新設校

### 児童数日本一の北陽小学校。

北陽小学校の校区内では住宅地の開発が進み、平成6年開校時の児童数は403人でしたが、本年4月には、およそ1,500人となり、大きく増加しています。

児童数の増加に伴い、これまで特別教室を普通教室に転用したり、プレハブ校舎を設置したりするなどの対応をしてきました。しかし、今後も学校の標準規模を超える児童数の状況が長期間続く見込みであることから、教育環境を改善するために分離新設校を建設することとしました。

今回は、北陽小学校の分離新設校について、その一部をご紹介します。

## 基本理念は 未来を切り拓き、たくましく「生きる力」を育む学校づくり

近年、国際化や情報化、少子高齢化などが急速に進み、人口減少や経済的な格差、地域間の格差など課題が山積しています。知識・情報・技術をめぐる変化は、今後、予測困難な時代となっていきます。

このため、これからの子どもたちに求められるのは、急激な変化に伴う時代を生きるため、目的や目標をしっかり持ち、未来をたくましく生き抜いていく「生きる力」を身に付けることであり、学校教育では、「生きる力」として「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成していくことを目標としています。

こうした時代背景や社会の要請に応え、創意と活力のある学校づくりを進めるため、新しい学校づくりの基本理念を「未来を切り拓き、たくましく『生きる力』を育む学校づくり」としました。

また、新たな学校づくりを行うにあたり、子どもが学習する場としての機能を備えること、その基盤となる安全で安心な学習環境を備えること、学校の教育活動を支える地域との連携を図ることを重視して、「子どもの学びをつなぐ学校」、「安全で安心な学校」、「地域とともにある学校」の3つの基本方針を設定しました。

### 基本理念と基本方針 の全体イメージ

確かな学力

基本理念

未来を切り拓き、たくましく  
「生きる力」を育む学校づくり

豊かな心

健やかな体

基本方針1  
子どもの学びを  
つなぐ学校

基本方針2  
安全で安心な  
学校

基本方針3  
地域とともにある  
学校

# 気になる分離新設校の所在地や境界線、開校までの流れは？

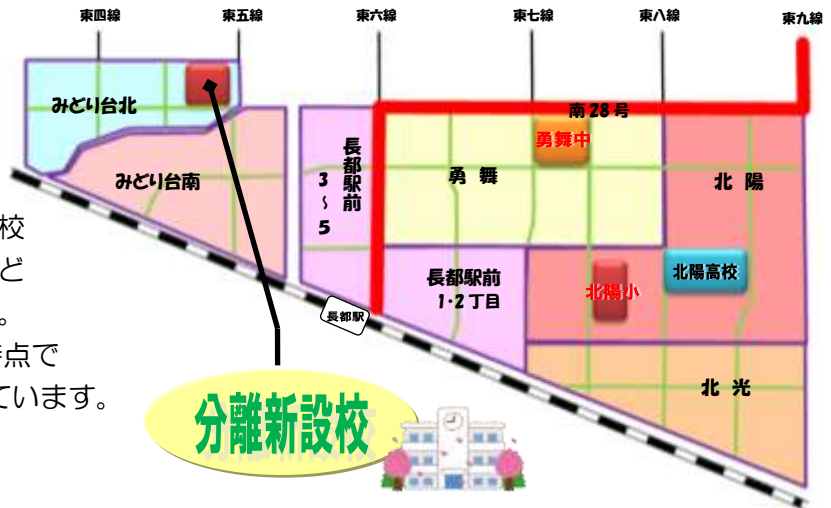
## 分離新設校の所在地 みどり台北5丁目

### 境界線 東6線及び南28号通

分離新設校の建設地は「みどり台北5丁目3番地1」です。JR長都駅から約1km北西に位置しています。

通学区域は、児童の通学距離や通学の安全性、母校校である北陽小学校と分離新設校の望ましい学級規模などを考慮して、境界線を東6線及び南28号通とします。

なお、分離新設校は令和4年（2022年）の開校時点で児童数およそ600人、19学級程度の規模を想定しています。



分離新設校

## 分離新設校開校までの流れ

分離新設校の基本・実施設計は、今年度から2年間をかけて行い、校舎等の建設工事は、令和2年度（2020年）から開始します。分離新設校の開校は、令和4年（2022年）4月を予定しています。

なお、小学校から中学校進学への円滑な接続などを目的に、千歳市において平成30年4月から開始している小中連携・一貫教育については、勇舞中学校区（分離新設校、北陽小、勇舞中）として連携を図っていきます。

### 令和元年度（2019）

- 基本・実施設計（～令和2年度まで）
- 学校名の決定

### 令和2年度（2020）

- 建設工事開始（～令和3年度まで）
- 開校準備委員会設立

### 令和4年度（2022）

- 開校（4月～）

### ◆北陽小分離新設校について◆

千歳市ホームページからご覧になれます。  
【ホーム>くらし>教育・文化>小・中学校>北陽小学校の分離について】

# 生活習慣を整えて、家庭学習の時間を確保しましょう！

毎年、小学6年生及び中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されています。

国語や算数、数学などの学力調査のほか、**学習習慣**や**生活習慣**に関する調査が行われます。その結果から、千歳の子どもたちには次のような傾向が見られています。

## 学習習慣

- 小学生 「休日に3時間以上勉強する」割合
  - 中学生 「普段2時間以上3時間未満勉強する」「休日に3時間以上勉強する」割合
- 全国平均を大きく下回っている



## 生活習慣

- 小・中学生ともに 「テレビゲームやスマートフォンを普段3時間以上利用する」割合



全国平均を大きく上回っている

**テレビゲームやスマートフォンの利用時間が長い**



教育委員会では、子どもたちが主体的な学習をするために、各家庭での働きかけが必要と考え、平成30年3月に小・中学生の家庭向けに「千歳市学力向上パンフレット～知性で未来を切り拓く千歳の子ども～夢に向かって未来への扉をひらくために～」を作成しました。よりよい家庭学習の習慣を身に付けるため、「今からはじめられること」などについて、各家庭で話し合うきっかけとして、ぜひお父さんと一緒に読んでください。

**家庭での学習時間が短い**

帰宅後、食事や入浴、睡眠時間を除く中で、**テレビゲームや携帯電話、スマートフォンの利用時間が長くなるほど、家庭での学習時間が短くなります。**生活習慣を整え、家庭学習の時間を確保することで、千歳の子どもたちのさらなる学力を向上が期待できます。



# 学校の特色ある取組を紹介します！

## 北栄小学校

### いじめ防止に向けて ～全校道徳(道徳集会)の取組～



北栄小学校では、平成30年度から、いじめ防止の取組の一つとして「全校道徳(道徳集会)」を始めました。これは日常の言葉づかいを見直し、あらためて、いじめにつながるような悪い言葉は使わないようにしようという趣旨で行われたものです。

昨年度は、校長先生からの講話の後、児童会から「いじめ」の怖さについて、そして最後には各クラスから「宣言」をして終了しました。各クラスでは、言葉づかいについて真剣に考え、自分たちのクラスで出来るいじめ防止の取組を話し合って宣言にまとめました。今年度は、ふれあい広場として縦割り班活動などを児童会が中心となって、取り組んでいく予定です。



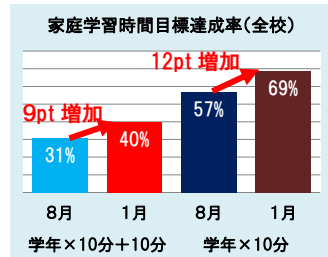
## 日の出小学校

### 人間力を伸ばす一歩 ～学校・家庭が一体となった生活習慣の改善～

日の出小学校では、昨年「生活リズムチェックシート」を活用し、「生活習慣」の改善に取り組んでいます。8月と1月の年2回の実施では、PTAからも保護者への呼びかけを行うとともに、「千歳市家庭生活宣言」とも連動した取組となるように「クリアファイル」の活用も工夫しています。

学校・家庭が一体となって推進した結果、「家庭学習時間(学年×10+10分)達成率」において、1月期では8月期と比べて10ポイント近く増加しました。

「『人間力』を伸ばす教育に全力で挑戦する学校」の日の出小として、これからも「『知・情・意・体』のバランスを重視」した学校づくりを、学校・家庭・地域が一体となってすすめていきます。



## 富丘中学校

### 大勢で取り組む『プチボラ』～町内会と一緒に花壇の手入れ～

富丘中学校では、生徒会が中心となって、全校生徒で取り組む『プチボラ』を行っています。あずさ町内会の方と協力して、学校前の東9線通り沿いの花壇を花でいっぱいにしていきます。



参加者がとても多いので、学年ごとに作業を分担して春から半年かけて取り組んでいます。ボランティア活動に参加し、その力を校内や地域社会で発揮すること、そしてみんなと一緒に地域社会に貢献する活動を通して、富中生の心に優しさや思いやりが広がってくれたら素晴らしいと考えています。



今年もよき校風を受け継ぎ、学校のまわりを花でいっぱいにしていきます。

### ～子どもたちの交通事故を防ぐために～

北海道警察が作成した冊子「小学生の交通事故実態」によると、歩行中の小学生の交通事故は、低学年ほど死傷者が多く、横断歩道以外の場所を横断中や登下校の時間帯に自宅付近で多く発生しています。また、事故にあった小学生の4割以上に、飛び出し等の交通違反が認められるという特徴があります。

交通事故を防ぐためには、子どもたちに危険な場所や注意すべきことを繰り返し教えることが大切です。

千歳市では、各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、子どもたちの交通安全などの見守りと啓発を行っています。ご家庭においても、大人と一緒に通学路や子どもの行動範囲にある公園などへの道のりを歩き、注意すべき事項や危険な場所を確認するなど、子どもたちを交通事故から守るために、交通安全に対する意識づけをお願いします。

また、登下校の時間帯に通学路の近くを通行するときには、子どもが飛び出してくることを想定し、あらかじめ速度を落として、十分に注意を払って運転をするようにお願いします。



# とびっくす

## 千歳っ子見守り隊を募集しています！

地域全体で登下校時の子どもの見守りや声掛け等を行い、犯罪の未然防止や安全で安心な通学路を確保することを目的とした千歳っ子見守り隊の隊員を募集しています。

通学する子どもたちと隊員があいさつを交わすことで交流が深まるほか、安全対策の向上においても良い効果が得られています。

見守り隊は都合のつく範囲で活動することができますので、ご協力をいただける方は、最寄りの小学校にボランティア登録をお願いします。



## 学校支援ボランティアを募集しています！ ～できるときに、できることから～

千歳市では、地域の方々に学校支援ボランティアとして、学校で行われる授業や学習支援のサポーターになっていただき、学校・家庭・地域が一体となって「地域ぐるみで子どもを育てる」体制づくりを行っています。支援に参加したボランティアからは「特別な資格はないが、役に立っていると実感できた」などの感想をいただき、学校からも「支援ボランティアがいることで十分な指導ができる」など感謝の声が届いています。支援内容は、水泳、スケート、家庭科などがあります。

興味のある方は、生涯学習課までご連絡ください。(連絡先：24-3153)



## 今年も指宿市を訪れます！～千歳市・指宿市青少年相互交流事業～

8月2日(金)から5日(月)まで千歳市の小学6年生16名が姉妹都市の鹿児島県指宿市を訪れます。マリンスポーツやそうめん流し体験など、指宿市で小学生最後の夏の思い出を作ります。

また、12月には、指宿市の小学6年生が千歳市を訪れ、スキー体験や雪遊びなど、北海道の冬を満喫し、1,612kmの距離を超えた熱い友情を育みます。



## 青葉中学校 ～我が校の図書館～

青葉中学校では、今年度、季節や行事に合わせた展示活動の充実を行います。年間8回～10回程度の展示活動を通して、子ども達に季節や行事に応じた読書活動の推進につながればと考えています。

また、本の紹介にさらなる工夫を実施します。ホワイトボードなどを活用し、中学生に読んでほしい本や、いま話題になっている本など、ニーズにも対応しながら工夫して魅力を伝えていこうと考えています。

さらに、昨年度実施した「ブックトーク」なども活用しながら、本の魅力や図書館を活用した学びにつなげていけるように、取り組んでいきます。



学校図書館司書の酒井さん

## 東小学校 ～私たちのP活動～

東小学校PTAは、会長以下4名の役員と事務局・研修部・生活部にて構成されています。研修部は主に各研究会への参加や東千歳中学校との合同研修会(救命救急講習)の運営を行っています。

生活部は、もちつき集会への協力を中心に、学校農園の環境整備や田植え、稲刈りなど、様々な学校行事に協力しています。また、ミニバレーボールによる体力の向上と親睦を深める取組も行っていきます。家庭数は19戸、教職員8名という少ない会員数の良さを生かし、子どもたちの笑顔を目指して、保護者と学校が一体となり活動を行っています。



編集・発行 千歳市教育委員会(千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所:〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話:24-0819(直通) ■FAX:27-3743

■E-mail:kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL:<http://www.city.chitose.lg.jp/>